

## 6年生市民科「みんなでよりよいまちをつくろう」



6年生は市民科の時間を使って「みんなでよりよいまちをつくろう」というテーマで、グループに分かれて「よりよいまちづくりのための提案」を練り上げています。

前期5月に行われた東海道歴史探訪・海洋学習からスタートして、自分たちが住むこのまちの課題を考え、課題ごとにグループを構成し、課題の整理と解決のための提案を考えるという、6年生とはいえ、小学生としては結構難易度の高い取り組みに挑戦をしてきました。

台場小だより(学校だより)10月号で三浦副校長も、6年生の取組について取り上げていましたが、この学習を進める過程で、先日9月22日(月)には、品川コミュニティスクールディの学習の場面として、地域の方や校教協委員(学校協力者)のみなさん、行政(関係課)の方などにお集まりいただき、それぞれの発表に対しいろいろとご意見をいただくという時間「熟議」を設定しました。ここまで自分たちでまとめた自分たちの意見を大人に聞いてもらう、その発表について、いろいろとアドバイスをいただき、自分たちにとって必要だと思った意見は取り入れる、そんな時間がこの「熟議」でした。

関わってくださった大人のみなさんは、子どもたちの発表を正面から受け止めてくださった上で、「この説明をもっと詳しくした方が伝わる」「どうしてそう考えたのか、もっと意見をはっきり言った方がいい」などと、児童の考えに寄り添いながらアドバイスをくださいました。子どもたちの意見に沿って、その場にいるみんなで、「よりよい私たちのまちにするにはどうしたらいいだろう」と、一緒に考える時間になっていった感じがしました。

各グループの意見は、この「熟議」でのアドバイスを受け入れて、さらに練り上げ作業に入っています。その上で、10月28日に発表会を行う予定です。環境や交通安全、観光、歴史・伝統、人権など、グループの提案内容に関係する関係諸機関の方々(品川区役所や観光協会の方々など)にもおいでいただきたいと思っています。

今年度、区内の公園で「花火」で遊ぶことができるようになったことをご存じですか? 聞くところによると、昨年度の6年生の提案の中にも、「公園の使い方」で「花火」のことが触れられていたそうです。台場小の子どもたちの提案が、直接的に届いた結果なのかどうかは分かりませんが、今、品川区は、「子ども・若者の意見を聞き、子ども・若者ならではの発想を区政に活かす」というスタンスでいるということですから、もしかすると28日は意見が届くチャンスになるかもしれませんね。